



JAPAN BLUE CO.,LTD

2021年9月14日

<プレスリリース>

株式会社ジャパンプルー

バナナの大量廃材がデニムに変身?! 「JAPAN BLUE JEANS」からバナナデニムの新製品 9月18日(土)新発売

国産デニムの発祥地、岡山・児島を代表する「桃太郎ジーンズ」等を展開する株式会社ジャパンプルー(本社:岡山県倉敷市児島、代表取締役:眞鍋寿男)は、カジュアルブランド「JAPAN BLUE JEANS」より、**大量廃棄されるバナナの茎部を再利用した<バナナデニム>コレクションの新製品**を、9月18日(土)より、JAPAN BLUE JEANS 直営店と公式オンラインショップ(<https://www.denimlabo.com/c/japanbluejeans>)にて販売します。

2020年より展開しているバナナデニムコレクションは、テキスタイルに強みをもつジャパンプルーだからこそ開発できた製品で、廃材になるバナナの茎部からの繊維と高品質なコートジボワール綿の混紡糸を織り込んだサステナブルなデニムです。今回、新たに「イージーテラードジャケット」「イージースラックス」「エコバック」の3アイテムが加わります。



バナナでデニム?! 旅先の“もったいない”から始まった

バナナデニムは、JAPAN BLUE JEANS ディレクターの岸本が2018年にタイに訪れた際、友人から「**バナナの木は一度収穫を終えたらお役御免で、大量に廃棄されてしまう**」という問題を聞いたことから始まりました。バナナ農家は、「実が生り終わったただの木」を毎年伐採、焼却し、次の収穫のためにまた一から木を育てることを繰り返しています。バナナの木は年間10億トン以上ともいわれ、経済成長著しいタイでは焼却によるCO2発生で地球温暖化への加速や、放置による土壌汚染など、バナナの木は廃棄処理問題が大きな課題となっていました。帰国後、岸本が感じた“もったいない”という気持ちを取引のある日本の紡績工場に相談し「大量廃棄するバナナの茎の繊維を使ったデニムを作る」取り組みが始まりました。



JAPAN BLUE JEANS Director
岸本裕樹

麻に似たバナナ繊維 100%の糸では生地制作に堪えられない事と、チクチクした肌触りが強く、岸本の目指す素材感は程遠いものでした。バナナ繊維のシャリ感を活かし、サラサラした独特の肌触りのデニムを実現するため、ジャパンプルーが挑戦したのは、糸づくりで使用するコットンの種類選定と配合率でした。ジャパンプルーがデニム製作に使っている 4 種のコットンの中で、最も相性が良く、理想の素材感に仕上げられるのがコートジボワール綿でした。



素朴で表情豊かなデニムの風合いを作るコートジボワール綿とバナナ繊維を使って、コートジボワール綿 82%×バナナ繊維 18%の配合の糸にたどり着くまで、50%×50%に始まり 60%×40%、70%×30%と糸づくりの試行錯誤の約2年が費やされました(生地の構想からの製品化は通常約1年程度)。「しなやかさ」「生地を引っ張ったときの伸度」「織機でも糸が切れない」など様々な条件と、ジャパンプルー社が誇る豊田自動織機 GL9 を使用する職人技術によって、バナナデニムの生地が完成しました。

<バナナデニムの特長>

1. 優れた吸水性/吸湿性/耐久性

バナナ繊維は、水を含むと繊維が膨らみ空洞ができるため、吸水性・吸湿性に優れ、また、綿に比べ繊維長が約1.5~2 倍で耐久性にも優れています。この特性はデニムに有効利用できる性質点になります。

2. コートジボワール綿との混紡の糸で伸度アップと素朴な風合いに

デニムを製織する際には、糸にある程度の伸度(しんど)が必要で、バナナ繊維自体には全く伸度がありませんでした。研究を重ねた結果、コートジボワール綿のナチュラルな素材感はバナナ繊維の風合いを引き立てるため、コートジボワール綿×バナナ繊維の混紡糸が完成しました。この混紡でバナナ繊維特有の“チクチクした肌触り”も軽減し、サラッとした麻のような素朴で独特な風合いのデニムが実現しました。

3. エシカルプロダクト

環境に配慮した素材「バナナ繊維」と綿花栽培の支援を行っている「コートジボワール綿」で製品化したバナナデニムは循環型社会を実現するエシカルな製品です。現在、天然繊維のコットンやリネンは天然繊維であるがゆえに生産者が減り、採取量が減ってきているという背景があります。バナナ繊維は、リネンに替わる第三の素材として天然繊維の供給量を増やす取り組みの1つとなって欲しいと考え、開発に至りました。



バナナデニム生地



バナナ繊維



バナナ繊維とコートジボワール
コットンの混合糸「バナナ糸」

<バナナの木が繊維になるまで>



バナナ栽培時の写真



収穫が終わったバナナの木から茎部分を伐採
仮茎から葉鞘を剥ぎ取る



繊維束を保持している表皮を剥ぎ、短冊状の繊維束にする



繊維束を乾燥する



出荷準備



出荷の際の形状

バナナデニムコレクション 2021 autumn & winter



バナナデニムのイージーテラードジャケットとイーゼースラックス。テラードとジャケットとのセットアップも楽しみ、ビジカジから休日スタイルまで幅広く使える 大人のためのリラックスウェアです。同じ生地でエコバックも作りました。

■**イージーテラードジャケット /S,M,L,XL /¥33,000(税込み)**

細身なシルエットながらタイトになりすぎないようにダーツを入れて曲線を出しています

■**イーゼースラックス/S,M,L,XL/¥24,200(税込み)**

リラックスした穿き心地が魅力のイーゼースラックス。足首に向かってテーパードを効かせすっきりとした印象に。

■**エコバック/F /¥5,995 (税込み)**

バナナを連想させる黄色のパイピングが施されている、バナナ繊維を使用したシャンブレイ生地のエコバック。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社ジャパングループ（広報室） 担当：室山、船木

■TEL: 086-476-8555 ■FAX: 086-476-8558

■MAIL: inquiry@japanblue.co.jp

<https://www.japanblue.co.jp/contact.html>

又は

ジャパングループPR 担当事務局（株式会社プラップジャパン） 担当：渡部、星川

■TEL: 03-4580-9101 / 070-2161-7107(星川)

■MAIL: japanblue-pr@prap.co.jp

画像 URL ダウンロード: <https://prap.gigapod.jp/f85b94a7e5557cb3be9a5deb80f9dc6d699714821>

参考) ジャパンブルーのコートジボワール支援について

ジャパンブルーでは、コットンを取引しているコートジボワールの社会貢献プログラムを、パートナーである SECO(コートジボワール社の綿花子会社)と共に、2020 年度より推進しています。コートジボワール北部の農村地域では、雨水や風により、土壌侵食・洪水が進み、栄養分豊富な土や収穫物が流され、毎年 2%の損失が発生しています。浸食した土地は放棄され、新たな農地の改革が求められています。現地の農家に適切な農業技術・灌漑対策を伝えることで、侵食・洪水による収穫減の防止、持続可能な農地の維持、零細事業者が多数を占める農家の増収、乱開発の防止を目的に支援しています。2024 年までに、コートジボワール北部で 25%の農地面積増加を目指しています。

コートジボワールには 2014 年から商品の売上げの一部を寄付することで支援しておりますが、なかなか現地へ赴くことができないことで成果や手応えを実感することができませんでした。その課題を解決するため、2021 年度から現地の SECO 社を交え、コートジボワールの技術支援を行っています。



支援金を使って購入した荷車やシャベル



OLAM 社を通じた支援



OLAM 社を通じた農業技術支援



灌漑対策の指導と取り組み